

1 子どもが輝く未来の創生 「やわた子ども未来プロジェクト」

<総括>

(1) 次代を生きる力の育成

子どもたちが豊かな心と想像力をはぐくみ、「市民力」を身につけられるよう、おはなし語り手ボランティア養成講座の開催、園児情報システムを活用した発達資産教育プログラムなどの就学前期からの取組に加え、小学校授業の中でのシティズンシップ教育などを行った。

基礎学力の定着、自学自習力の向上を図るため、学習支援事業及びやわた放課後学習クラブに継続して取り組んだほか、学力の底上げのため、経済的に困難な家庭の中学生を対象に、民間教育機関による学習機会を提供するスタディサポート事業（鳩嶺教室）を平成29年度から実施するとともに、引き続き各校へ学習支援員の配置を行った。また、学校施設でのICT環境の充実に向けたWi-Fi環境の整備を行ったほか、小学校と同様に栄養バランスの取れた安心安全な中学校給食の提供を開始し、学校教育の充実を図った。

地域による子どもの学びの環境づくりの面では、各中学校校区学校支援地域本部により、日々の学習支援や環境整備のほか、地域の特色を活かした体験活動を実施している。地域をあげてのお祭りでもある男山中学校校区の「絆フェスタ」をはじめ、茶道体験や生け花体験のほか、干し柿づくり、もちつき大会、苗植えと収穫体験など、指導者だけでなく場所や道具の準備を含め、地域ボランティアの協力・支援のもと、子どもたちに多岐にわたる体験の機会を提供することができている。

国際交流では、国際感覚を養うとともに、今後の交流の懸け橋となる人材の育成を目的に、本市の子どもと友好都市マイラン村の子どもたちとの間の絵画交流やインターネット交流を実施したほか、令和元年度はそれらを発展させた訪問交流の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった。

(2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

子どもの好奇心・探求心を引き出す場の創出のため、「放課後子ども総合プラン」の推進に向け、やわた放課後学習クラブに放課後児童健全育成施設在籍児童が参加し、平成29年度からは特別プログラムへの参加募集を放課後児童健全育成施設（一体型該当施設）に在籍する児童に対しても行っているが、児童を受け入れるための教室や人員、児童の安全性の確保等に課題があることから、全学年を対象とした一体型・連携型の実施には至っていない。また、体育協会や文化協会との連携により、子どもを対象とした各種教室を継続的に開催し、それぞれの種目等における基礎だけでなく教室によっては発表の場や大会等への参加もあり、自らの成長を実感する機会を提供することができた。教室終了後も継続して学びたい旨の問い合わせが多数よせられ、八幡市におけるスポーツや文化を次世代に継承していくきっかけづくりに寄与できた。

さらに、子どもが「夢」にふれる機会の創出のため、現役・OBのスポーツ選手等による特別授業等を全小学校で実施するとともに、引き続き小学校4年生と中学校2年生を対象に、職業知識・技能習得に向けた体験活動を実施した。

(3) 出産から子育てまで一貫したサポートの充実

妊娠から出産前後までの一貫したサポートのため、不妊治療に対する助成や妊婦健診事業のほか、平成29年度から産前・産後ヘルパー派遣事業を実施した。また、更なるサポートの充実として、産後5か月未満の産婦を対象に、助産師が訪問し授乳指導やメンタルケア等の支援を行う産後ケア事業を令和元年度から実施した。

安心して産み育てられる環境の整備に向けては、妊婦から就学前の子どもをもつ家庭に対する各種相談・支援事業や各種講座を実施したほか、ファミリーサポートセンター事業や子育て支援医療給付を継続して実施した。また、市内の子どもたちが生き物に触れ合え、生態を学べる場としての子ども動物園の管理を行ってきた。さらには、障がいのある児童・生徒と地域住民等が交流できるようふれあい交流事業に取り組んできた。

働く大人の子育てをサポートする公立就学前施設については、就学前児童が減少傾向にある一方で保育需要の高まりが続いている中、平成29年度「公立就学前施設前期再編に関する提言」を踏まえ、教育・保育の質の向上を目指した施設の再編に着手し、令和元年度は前期再編の第一段階として、八幡第二幼稚園を休園するとともに、みやこ保育園の令和2年度廃園に向けた取組を推進した。引き続き認定こども園化を含めた再編の方向性を検討する。また、医療機関における病児保育事業に継続して助成している。

<各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生関係交付金を活用して取り組んだ事業
 □ : その他、市で取り組んだ主な事業

(1) 次代を生きる力の育成

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①子どもの『市民力』の育成		
○ おはなし語り手ボランティア養成 市民図書館で開催 3回 60千円	○ 絵本読み聞かせボランティア養成 市民図書館で開催 2回 60千円	○ おはなし語り手ボランティア養成 市民図書館で開催 3回
○ シティズンシップ教育 小学校授業の中で実施	⇒ 継続実施	⇒ 継続実施
○ 地域少子化対策強化事業 園児情報システムを活用した発達資産教育プログラム 利用 2,038人 3,410千円	⇒ システム運用 園児情報システムを活用した発達資産教育プログラム 利用 1,614人 3,233千円	⇒ システム運用 園児情報システムを活用した発達資産教育プログラム 利用 1,450人 2,626千円

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
②基礎的な生活・学習習慣の定着		
○ スタディサポート事業実施 市内全域の中学生(低所得世帯)へ拡大 受講 中学生102人 23,815千円(5,000千円)	⇒ スタディサポート事業(鳩嶺教室) 事業名変更・通年実施へ拡大 受講 中学生136人 34,406千円(4,660千円)	⇒ 継続実施 受講 中学生142人 34,607千円
○ 小中学校施設整備 男山中学校エレベーター設備等整備工事 84,990千円	⇒ 整備推進 有都小学校無線LAN環境整備 4,785千円	⇒ 整備推進 男山中・男山東中学校無線LAN環境整備 17,177千円
○ 学力向上推進事業 ・学習支援員配置 49人 ・スクールソーシャルワーカー配置2人 34,937千円	⇒ 学力向上推進 ・学習支援員配置 52人 ・スクールソーシャルワーカー配置2人 25,110千円	⇒ 学力向上推進 ・学習支援員配置 53人 ・スクールソーシャルワーカー配置2人 22,912千円
○ 中学校給食実施 29年5月1日から完全給食実施 11,156千円	⇒ 継続実施 12,618千円	⇒ 継続実施 12,674千円
○ 放課後学習クラブ運営 学習支援 延8,467人 10,150千円	⇒ 運営 学習支援 延8,240人 8,875千円	⇒ 運営 学習支援 延8,652人 9,465千円
○ 南ヶ丘教育集会所学習支援 漢検・英検受験支援等の学習支援 学習支援利用者 延4,990人 リーダーバンク出務 延356人 28,442千円	⇒ 継続実施 漢検・英検受験支援等の学習支援 学習支援利用者 延5,762人 リーダーバンク出務 延331人 32,359千円	⇒ 継続実施 漢検・英検受験支援等の学習支援 学習支援利用者 延6,322人 リーダーバンク出務 延356人 31,153千円
③地域による子どもの学びの環境づくり		
○ 地域で支える学校教育推進 学校支援地域本部活動助成 4中学校区 3,867千円	⇒ 推進 助成 4中学校区 2,874千円	⇒ 推進 助成 4中学校区 2,854千円
○ 地域連携教育活動推進 小・中学校地域支援12団体へ助成 3,925千円	⇒ 推進 助成 12団体 3,850千円	⇒ 推進 助成 12団体 3,700千円
○ 子ども食堂運営支援 利用可能な制度などの情報提供 市内運営3団体	⇒ 継続実施 利用可能な制度などの情報提供 市内運営3団体	⇒ 継続実施 利用可能な制度などの情報提供 市内運営3団体
④グローバル教育等への注力		
○ 外国人講師の派遣 市内小学校5・6年生 計2名派遣 各中学校に1名 計4名派遣 9,784千円	⇒ 継続派遣 市内小学校3～6年生 計2名派遣 各中学校に1名 計4名派遣 10,125千円	⇒ 継続派遣 市内小学校3～6年生 計2名派遣 各中学校に1名 計4名派遣 10,137千円
○ 学力向上推進 ・英語検定受験料負担 中学生1,579人 ・英語スピーチコンテスト開催 発表12人 3,580千円	⇒ 推進 ・英語検定受験料負担 中学生1,050人 ・英語スピーチコンテスト開催 発表12人 2,763千円	⇒ 推進 ・英語検定受験料負担 中学生1,191人 3,244千円
○ マイラン村とのインターネット交流 29年8月5日実施 参加者約80人 352千円(163千円)	⇒ 継続実施 30年10月27日実施 参加者約60人 285千円	⇒ 訪問交流実施 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 1,243千円

(2) 好奇心・探究心と夢を掴む力の育成

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①プレイフルな“学び”と“体験”と“遊び”による好奇心・探究心の育成		
○ 子どもわくわく教室開催(文化) 文化協会へ委託 2教室 364人 300千円	⇒ 継続開催 2教室 303人 300千円	⇒ 継続開催 2教室 312人 300千円
○ 子どもわくわく教室開催(スポーツ) 体育協会へ委託 5教室 延76回 1,622人 542千円	⇒ 継続開催 5教室 延75回 1,953人 542千円	⇒ 継続開催 5教室 延72回 1,602人 542千円
○ 放課後子ども総合プランの検討 放課後学習クラブ・放課後児童健全育成事業の一体的な実施を検討	⇒ 検討 放課後学習クラブ・放課後児童健全育成事業の一体的な実施を検討	⇒ 検討 放課後学習クラブ・放課後児童健全育成事業の一体的な実施を検討
○ 「キッズ教室」(体育協会事業) 未就学児の基礎運動能力を高める 体育協会主催の事業	⇒ 継続開催	⇒ 継続開催
②子どもが“夢”にふれる機会の創出		
○ 「夢の教室」 現役・OBのスポーツ選手等による特別授業 全小学校(5年生)で計20回 3,060千円	⇒ 継続実施 全小学校(5年生)で計21回 3,050千円	⇒ 継続実施 全小学校(5年生)で計20回 3,135千円
○ 仕事・文化体験活動 職業知識・技能習得に向けた体験活動 (小学校4年生, 中学校2年生) 770千円	⇒ 継続実施 777千円	継続実施 748千円

(3) 出産から子育てまで一貫したサポートの充実

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①妊娠・出産安心サポート		
○ 産前・産後ヘルパー派遣事業 利用者 3人 123千円	⇒ 継続実施 利用者 3人 141千円	⇒ 継続実施 利用者2人 245千円
○ 不妊治療給付 受給者 85人 2,230千円	⇒ 継続実施 受給者 70人 1,637千円	⇒ 継続実施 受給者 44人 1,444千円
○ 妊婦健康診査事業 受給者 727人 36,516千円	⇒ 継続実施 受給者693人 35,533千円	⇒ 継続実施 受給者 (算出中) 28,270千円
○ こんにちは赤ちゃん訪問事業 訪問 413件 訪問率 89.0% 2,231千円	⇒ 継続実施 訪問 403件 訪問率 92.6% 2,386千円	⇒ 継続実施 訪問374件 訪問率 90.3%
		○ 産後ケア事業 延 13件 151千円
②安心して子育てできる環境の整備		
○ 子育て支援センター運営 市内3カ所 利用 延38,491人 68,432千円	⇒ 運営 市内3カ所 利用 延39,989人 74,358千円	⇒ 運営 市内3カ所 利用 延30,537人 76,287千円
○ ファミリーサポートセンター運営 サポート会員 70人 利用会員 293人 両方会員9人 3,371千円	⇒ 運営 サポート会員 70人 利用会員 331人 両方会員10人 3,342千円	⇒ 運営 サポート会員 75人 利用会員 353人 両方会員9人 3,218千円
○ 地域少子化対策強化事業 子どもの育ち情報システム等を活用 した「マイこども園」制度 利用3,442人 4,472千円	⇒ システム運用 利用3,276人 4,294千円	⇒ システム運用 利用3,157人 3,649千円
○ 子育て支援事業助成 「おひさまテラス」利用児童 959人 1,398千円	⇒ 継続実施 「おひさまテラス」利用児童 797人 1,398千円	⇒ 継続実施 「おひさまテラス」利用児童 721人 1,468千円
○ 子育て支援サークル助成 助成 2団体 21千円	○ 子育て支援サークル助成 助成 1団体 11千円	⇒ 継続実施 助成 0団体 0千円
○ 子ども動物園施設整備設計業務検討	⇒ 検討	⇒ 検討

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
○ 子育て支援医療給付 141,648件 237,685千円	⇒ 継続実施 132,669件 223,081千円	⇒ 継続実施 135,974件 218,549千円
○ 要保護児童訪問支援 利用 延47人 234千円	⇒ 継続実施 利用 延18人 89千円	⇒ 継続実施 利用 延95人 418千円
○ 発達障害児等早期療育支援 利用延200人 1,537千円	⇒ 継続実施 利用延152人 1,530千円(350千円)	⇒ 継続実施 利用延118人 1,530千円(365千円)
○ ふれあい交流事業 障がい児と地域住民、ボランティア等との交流 7回 参加者 延220人(うち障がい者36人) 374千円	⇒ 継続実施 障がい児と地域住民、ボランティア等との交流 6回 参加者 延179人(うち障がい児者26人) 258千円(70千円)	⇒ 継続実施 障がい児と地域住民、ボランティア等との交流 4回 参加者 延172人(うち障がい児44人) 241千円(72千円)
③働く大人の子育てサポート		
○ 民間保育園の認定こども園化促進	⇒ 促進 認定こども園化 2園(山鳩・山鳩第二)	⇒ 促進
○ 公立就学前施設の再編検討 公立就学前施設前期再編に関する提言の作成 1,428千円	⇒ 再編検討・推進 保護者等説明	⇒ 再編検討・推進 保護者等説明 八幡第二幼稚園休園
○ 病児保育事業(医療機関) ・病児保育事業費助成 2病院 延721人 15,195千円 ・病児保育利用料助成 延38人 65千円	⇒ 継続実施 ・病児保育事業費助成 2病院 延546人 11,777千円 ・病児保育利用料助成 延44人 78千円	⇒ 継続実施 ・病児保育事業費助成 2病院 延647人 13,544千円 ・病児保育利用料助成 延47人 85千円
○ 病児保育事業(体調不良児対応型) 保育園等への看護師等配置 30,138千円	⇒ 継続実施 35,709千円	⇒ 継続実施 35,078千円
○ ワーク・ライフ・バランス啓発 事業所等へパンフレット配布 840部	⇒ 継続実施 市ホームページにて啓発	⇒ 継続実施 市ホームページにて啓発

2 健幸都市の創生「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」

<総括>

(1) スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

平成28年度に策定した「やわたスマートウェルネスシティ構想」を踏まえ、平成29年度には「やわたスマートウェルネスシティ計画」を策定し、健幸まちづくり施策の実施に向けた基礎を構築した。
平成30年度以降は、計画に基づく各種施策の実施や健康づくりの必要性・重要性の啓発活動を進める中で、健幸クラウドの分析結果から実施場所や内容を絞って健康づくりの啓発を行う「健幸マルシェ」の実施や、医療費や介護給付費抑制のエビデンスに基づいた新たなインセンティブ事業「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」をスタートさせるとともに、健康アンバサダーを養成・情報提供を行うなど、健康無関心層に対する対策を進めている。

(2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

市民協働で取り組む健康づくりとして、高齢者向けの住民主体の体操教室「元気アップ事業」をこの間進めており、教室を運営する市民がスキルを身に付けるまでに時間を要すること、実施基準を満たす会場の確保が思いの外困難であることなどから、目標としていた実施箇所数には及ばなかったものの、少しずつ教室が定着している状況である。今後、元気アップ事業の拡大を含め、行政の介入が少なくても住民主体で運動が続いていく仕組みについて、引き続き検討を行う。

(3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

この間に健幸マルシェや、健康マイレージ事業をICTを活用した「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」にリニューアルするなど、健康無関心層を中心に誰もが気軽に参加しやすい仕組みづくりに取り組んできた。平成30年度には、市内および近郊のスポーツクラブ5社と「やわた健幸づくり推進連携協定」を締結し、行政イベントへの積極的参加を求めるほか、各々のスポーツクラブと継続した運動実施のきっかけとなるような内容での教室等について検討の上実施している。
令和元年度は、平成30年度に引き続き市民ふれあいウォーキングを2回、ノルディックウォーキング教室を1回開催した。令和2年度からは、ノルディックウォーキング教室を年2回に増やし、市民の更なる健康増進に寄与し、市民ふれあいウォーキングについては、行先等のニーズを汲み取り、参加者の増加を図る。
自然と出歩きたくなるまちづくりに向けては、やわた散歩の作成によりウォーキングの目的地にもなる市内の見どころを紹介するとともに、歩道の段差解消などによる歩道のバリアフリー化を行った。今後も引き続き安心・安全な歩行空間の確保や歩きやすくなる道づくりを進める。

<各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生関係交付金を活用して取り組んだ事業

□ : その他、市で取り組んだ主な事業

(1) スマートウェルネスシティやわたのプロモーション

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
① 健幸づくり計画(仮称)の策定		
○ やわたスマートウェルネスシティ構想推進	⇒ 構想推進	⇒ 構想推進
○ やわたスマートウェルネスシティ計画策定 9,930千円(4,965千円)	⇒ 計画推進	⇒ 計画推進
② 健幸都市度の「見える化システム」の導入		
○ 健幸クラウド データ分析・活用 分析結果を踏まえ「健幸マルシェ」を企画 6,462千円(3,231千円)	⇒ データ分析・活用検討 分析結果を踏まえ「健幸マルシェ」を実施 小学校区ごとの健康課題等の分析 6,631千円(2,960千円)	⇒ データ分析・活用検討 分析・及び事業の企画、実施 インセンティブ事業参加者の分析 6,583千円(3,291千円)
③ 健幸プロモーションの推進		
○ 健康フェスタ開催 10月21日開催 参加者700人 1,729千円	⇒ 継続開催 フェスタ10月20日開催 参加者2,200人 新規マルシェ3月24日開催 参加者300人 1,815千円(742千円)	⇒ 継続開催 フェスタ6月9日開催 参加者2,200人 マルシェ 実施予定→中止 1,239千円(437千円)
○ やわたヘルスプロモーション推進 健幸アンバサダー養成 268人 食生活改善推進員養成 10人 561千円(280千円)	⇒ プロモーション推進 健幸アンバサダー養成 58人 健幸アンバサダーへの健幸情報提供等 7回 357千円(104千円)	⇒ プロモーション推進 健幸アンバサダー養成 84人・フォローアップ41名 健幸アンバサダーへの情報提供 4回 694千円(248千円)

(2) 市民協働で行う高齢者の健康づくり

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①地域で支える新しい介護予防の推進		
○ コミュニティ運動教室運営 元気アップ事業 市内4か所 84人 高齢者体力測定・分析 元気アップサポーター養成 2,086千円(1,043千円)	⇒ 運営 元気アップ事業 市内5か所 106人 高齢者体力測定・分析 元気アップサポーター養成 2,079千円(1,021千円)	⇒ 運営 元気アップ事業 市内5か所105人 高齢者体力測定・分析 元気アップサポーター養成 1,608千円(776千円)
②産官学の連携と市民協働の仕組みづくり		
○ やわたスマートウェルネスシティ協議会開催 開催 5回 10,426千円(5,088千円)	⇒ スマートウェルネスシティやわたの推進 協議会開催 1回 健康づくり民間企業との連携協定 近隣のスポーツジム等と締結 1,115千円(13千円)	⇒ スマートウェルネスシティやわたの推進 やわた健幸づくり推進連携協定締結先との連携事業の実施 7日間開催 行政主催のイベントへの参加 2回6事業所

(3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①やわた健幸マイレージ(仮称)の推進		⇒ やわた未来いきいき健幸プロジェクト
○ 健康マイレージ事業 利用者535人 1,483千円(302千円)	⇒ 継続実施 利用者561人 1,815千円(24千円)	にリニューアル 参加者 1,050人 31,188千円(12,280千円)
②世代・嗜好にあった健幸プログラムの創出		⇒ 検討・開発
○ 健幸プログラムの検討・開発 スマートウェルネスシティ推進協議会等で検討 開発 1プログラム ・健幸マルシェ	○ 新たなヘルスケア事業の推進に向けた検討・体制づくり 検討・開発 ・やわた未来いきいき健幸プロジェクト	
③自然と出歩きたくなるまちづくり		⇒ ウォーキング推進事業
○ ウォーキングイベント推進事業 ウォーキングイベント開催4回 参加者 776人 ウォーキングマップ増刷 831千円(221千円)	⇒ ウォーキング推進事業 ウォーキングイベント開催 760千円(366千円)	⇒ ウォーキング推進事業 ウォーキングイベント開催2回 ウォーキングマップの配布 215千円
○ ウォーキング教室開催 市民ふれあいウォーキング開催1回 参加者 50人 ノルディックウォーキング開催1回 参加者 22人	⇒ 継続開催 市民ふれあいウォーキング開催2回 参加者 81人 ノルディックウォーキング開催1回 参加者 33人 ○アシックスウォーキング教室 ○流れ橋ふれあいウォーキング 等	⇒ 継続開催 市民ふれあいウォーキング開催2回 参加者64人 ノルディックウォーキング開催1回 22人
	○ 広域観光PR紙作成 「八幡さんぼ」作成 776千円(387.6千円)	⇒ 継続作成 「八幡さんぼ」作成 677千円(335千円)
○ 歩道バリアフリー化 バリアフリー化改良工事実施 921千円	⇒ 整備推進 バリアフリー化改良工事実施 880千円	⇒ 整備推進 バリアフリー化改良工事実施 2,422千円

3 文化と暮らしの創生「やわたチャレンジプロジェクト」

<総括>

(1)「世界から関心を集める観光都市・やわた」へのチャレンジ

観光まちづくりを推進するにあたり、目指すべき姿について言語化し、本市が観光客から選ばれる観光地となるとともに、市民が観光まちづくりに共感し、後押しをする機運を作っていくため、市民や関係団体とともに、「八幡市駅前整備等観光まちづくり構想」を平成29年度に策定した。それを基に、「八幡市市街地整備計画」において、石清水八幡宮駅周辺整備についてある程度具体的な整備計画を示した。引き続き、周辺整備に向けた民間デベロッパーの動向を注視しながら状況に応じた対応を進める。また、八幡市都市計画マスタープランを平成30年度に改定し、石清水八幡宮駅周辺を「複合都市機能誘導ゾーン」と位置づけ、都市機能の集積と観光まちづくりの観点から商業機能の充実による賑わいの創出を図る方針とした。今後、このまちづくり方針に沿った各種都市機能の誘導を図っていく。

観光資源を生かした広域観光の推進に向けては、近年の社会ニーズに合致した観光振興の指針として観光基本計画を平成30年度に策定したほか、令和元年度に名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画書の作成、やわた流れ橋交流プラザの改修を行い、戦略的交流拠点の魅力向上に取り組んできた。また、八幡市の豊かな歴史や文化、自然などを5つの物語で紹介するウェブコンテンツ「八幡ストーリー」を平成30年度に制作し、合わせて八幡ストーリーを紹介する外国語の観光パンフレットを令和元年度に作成した。さらに、本市の観光資源である歴史・文化に興味を持つ世代とお茶に興味を持つ世代がジャズ愛好家の多い世代と共通していることに着目し、お茶を楽しみながらジャズ演奏を楽しんでいただけるイベント「Chazz in YAWATA(初年度は石清水八幡宮)」や八幡産てん茶普及啓発事業として、八幡産のてん茶を使用した松花堂での茶会や八幡フェスタ「農」茶香服大会も実施し、「八幡の茶文化」への理解を深めてもらう機会を提供するとともに、さくらまつりや一坪茶室の作成、「空中茶室」シンポジウムなどを通じ、八幡市の魅力の発信に取り組んだ。

アクセスとおもてなし環境の整備では、本市のもう一つの玄関口である橋本駅前拠点整備について、これまで、各種設計(予備、詳細、物件補償)を経て、必要となる用地の取得を継続し進めている。

地域の魅力を高めていくための八幡版DMOの取組としては、インバウンド受入整備に向けた取組として、観光協会ホームページの改訂をはじめ、龍谷大学との連携による情報発信・セミナー開催や市内3か所への英語併記観光案内板の設置、公衆無線LANの整備などを行った。また、台湾プロモーションとして、SNSでの観光情報発信や現地で開催された商談会へ参加し、インバウンド向けのPRに取り組んだ。

(2)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

男山地域において、地域住民が気軽に集える場所を提供する「だんだんテラス」を365日開設し、年間を通じて住民交流や意見交換、ワークショップ等を実施した。令和元年度は、男山地域再生に向け、外国人居住者対策の一環として、男山団地に住まうベトナム人技能実習生への住まい方説明会及び地域住民との交流会を実施した。また、さくらであい館直売所への助成を通じ、地産地消を推進するなど、大都市近郊でありながら自然も有する八幡ならではの魅力ある生活環境の発信に取り組んだ。

地域福祉の推進に向けては、平成30年度に改訂した地域福祉推進計画に基づき、地域住民や専門職等で地域課題の共有・意見交換等を行う「わたしたちの談話」プロジェクトを平成30年度から引き続き実施するなど、人と人の絆による豊かな暮らしづくりに取り組んでいる。また、ハートフルフラワー事業による障がいを持つ方のやりがいづくりを行うとともに、手をつなぐ親の会活動への助成を通じて、障がいのある子どもを持つ親への支援を行うなど、障がいのあるなしにかかわらず安心して暮らすことのできる環境の整備に取り組みました。

シビックプライドの創生に向けては、平成29年度に制作した「一坪茶室」を活用したイベントを企画・実施したほか、徒然草をキーワードに本市の歴史の発信とAI時代の日本語を考える一助とすることを旨として「徒然草エッセイ大賞」を実施し、「文化芸術都市・八幡市」の推進と発信に繋げるとともに、市民に対し、郷土に対する誇りや愛着を持てるようになる機会を提供している。また、写真の投稿に特化したSNS「インスタグラム」の市公式アカウントを平成29年度に開設。市の旬の話題やイベント情報を発信し、市内外から広く市の魅力などの写真を投稿いただく「インスタグラムで「#やわふおと」キャンペーン」を実施した。平成30年度以降もSNSを通じた情報の拡散性を生かすため、季節ごとにインスタグラムを活用したキャンペーンを企画し、市民参加形式で市内外に地域資源の魅力を発信する取り組みを継続している。さらに、公民館・コミュニティセンター講座等開設・生涯学習フェスティバル事業・生涯学習講座開設を継続的に実施している。

(3) やわた EDISON チャレンジ!

創業の推進では、創業支援員の配置によるワンストップ窓口の設置・運営や融資保証料・利子の補給を継続的に実施した。市内の担い手農家の育成等を図るための支援では、関係団体等との連携により、「地域農業担い手認定者支援」として、認定農業者及び新規就農者の確保・育成を推進するとともに、担い手農家の経営安定等を図るため、農機具購入等に対する助成を継続的に実施し、担い手農家の経営規模拡大に向け支援した。

<各施策の具体的事業の進捗状況>

■ : 地方創生関係交付金を活用して取り組んだ事業

□ : その他、市で取り組んだ主な事業

(1)「世界から関心を集める観光都市・やわた」へのチャレンジ

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①国宝石清水八幡宮を活かした交流拠点づくり		
○ 八幡市駅前整備等観光まちづくり 構想策定・推進	⇒ 構想推進	⇒ 構想推進
○ 八幡市市街地整備計画策定 6,275千円	⇒ 計画推進	⇒ 計画推進
○ 八幡市都市計画マスタープラン 改定 3,500千円	⇒ 改定 7,623千円	⇒ 計画推進
○ 石清水八幡宮国宝指定記念グッズ 追加作成 クリアファイル増刷 5,000枚 400千円	⇒ 継続作成 クリアファイル増刷 3,000枚 299千円	
○ 松花堂庭園・美術館整備推進 梅隠屋根葺替・修繕 9,882千円(4,933千円)	⇒ 整備推進 松隠エアコン設置、食の交流棟改修等 2,031千円(1,015千円)	⇒ 整備検討
○ 名勝松花堂・書院庭園保存活用 基本方針の検討 4,256千円(2,110千円)	⇒ 計画策定 2,314千円(1,080千円)	⇒ 計画策定 3,694千円(432千円)
○ やわた流れ橋交流プラザ整備推進	⇒ 整備推進 食彩棟テラス改修 2,970千円(1,350千円)	

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
②「お茶の京都」・「三川合流」などを活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進		
	○ 八幡市観光基本計画策定 4,194千円(2,096.8千円)	⇒ 八幡市観光基本計画推進業務委託 計画推進に係る民間機関への意向確認等の調査 1,283千円(641.3千円)
○ お茶の京都博「さくら茶会」開催 4月1日・2日開催 来場者20,000人 負担金支出 4,200千円(2,100千円)		○ うまいもんまつり開催(観光協会事業) 石清水八幡宮頓宮で開催するグルメイベント 830千円(415千円)
○ 一坪茶室作成 2,000千円(750千円)		
○ お茶の京都in松花堂・四季彩館 ・茶会(松花堂) 1回 参加250人 ・茶香服(四季彩館) 1回 参加40人 ・茶学習 1回 参加20人 3,696千円(1,848千円)	⇒ 継続開催 ・茶会(松花堂)1回 参加164人 ・茶香服(四季彩館)1回 参加38人 ・茶学習1回 参加34人 2,896千円(1,447千円)	⇒ 継続開催 ・茶会(松花堂)1回 参加223人 ・茶香服(さくらであい館)1回 参加39人 ・茶学習1回 参加19人 3,144千円(1,572千円)
○ 紅葉満喫・秋の文化財一斉公開 (観光協会事業へ移行) 206千円(200千円)	⇒ 継続実施 400千円(200千円)	⇒ 継続実施 471千円(235千円)
○ お茶の京都DMO設立経費負担金支出 7,100千円(2,900千円)	⇒ 負担金支出 6,765千円(2,717千円)	⇒ 負担金支出 6,993千円(2,661千円)
○ 「Chazz in 石清水八幡宮」開催 10月9日開催 来場者5,000人 5,486千円(2,743千円)	⇒ 「Chazz in YAWATA」開催 9月23日開催 来場者 3,000人 5,281千円(2,640千円)	⇒ 「Chazz in YAWATA」開催 10月26日開催 来場者 1,100人 2,578千円(1,289千円)
○ 「空中茶室」シンポジウム開催 30年1月21日開催 参加者延283人 1,293千円(641千円)		
○ 歴史文化物語コンテンツ作成・啓発 「八幡STORY」作成 5,973千円(2,986千円)	⇒ コンテンツPR広告作成 観光情報誌・スマホアプリへの掲載 1,350千円(675千円)	⇒ コンテンツPR広告作成 「八幡STORY」を紹介する外国語パンフレット作成 1,252千円(625千円)
	○ 男山四十八坊跡等観光案内冊子作成 274千円(136.9千円)	
○ 桜まつり開催(観光協会事業) 4月1日～4月10日開催 来場466,000人	○ さくらまつり実行委員会負担金 3月31日～4月10日開催 来場303,329人 実行委員会形式へ変更 1,500千円	⇒ さくらまつり委員会負担金 3月30日～4月7日開催 来場352,030人 1,500千円(750千円)
		○ 台湾プロモーション(観光協会事業) 台湾に向けた観光PR及び商談会への参加 1,443千円(186千円)
○ 淀川三川ふれあい交流 背割堤七夕まつり 来場2,610人 4,829千円(2,306千円)		
○ 背割堤パンフレット作成(30,000部) 324千円(150千円)		

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
③アクセスとおもてなし環境の整備		
○ 男山展望台景観整備工事 電線の移設、案内板の設置等 1,210千円	○ 男山四十八坊跡等観光案内板 追加設置 417千円	○ インバウンド対応観光案内板作成 設置:飛行神社前、松花堂庭園前、一ノ鳥居前 1,045千円
○ 観光案内板用道路標識整備 石清水八幡宮への案内標識 7箇所 1,477千円		
○ 公衆無線LAN設置拡大 設置:石清水八幡宮、飛行神社 119千円	⇒ 設置拡大 設置:単伝庵(らくがき寺) 106千円	⇒ 設置拡大 松花堂庭園・美術館既設延長、京都吉兆新設 299千円
○ 橋本駅周辺拠点整備 駅前広場予備設計 15,259千円	⇒ 継続実施 駅前広場詳細設計・物件補償設計 42,479千円	⇒ 継続実施 用地取得・建物移転等補償 31,300千円
④八幡版DMOの推進		
○ 「お茶の京都」交流拠点づくり 推進協議会開催 委員13人 開催1回 153千円(74千円)	⇒ 協議会開催 700千円(300千円)	⇒ 八幡市観光基本計画推進協議会開催 官民連携の協議会を開催 62千円(29.7千円)
	○ 観光協会ホームページ改訂 1,491千円(745.2千円)	⇒ 観光協会ホームページ(英語対応) 693千円(344千円)
○ インバウンド対応情報発信 [龍谷大学との連携事業] ・外国人留学生によるモニターツアー ・外国人観光客向けパンフレット作成 ・SNS観光情報発信 331千円	⇒ 継続実施 [龍谷大学との連携事業] ・外国人留学生によるモニターツアー ・指さし会話集作成 ・SNS観光情報発信 350千円(128千円)	⇒ 継続実施 [龍谷大学との連携事業] ・外国人留学生によるモニターツアー ・SNS観光情報発信 ・やさしい日本語を広める活動 139千円(69千円)

(2)「日本一魅力的なスローライフタウン」へのチャレンジ

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①やわたならではのスローライフの追求		
○ 男山地域再生事業 ・だんだんテラス事業助成 ・大学連携コーディネート 等 ・アンケート調査実施 等 4,905千円(1,850千円)	⇒ 継続実施 ・だんだんテラス事業助成 ・大学連携コーディネート 等 4,647千円(2,130千円)	⇒ 継続実施 ・だんだんテラス事業助成 ・大学連携コーディネート 等 4,044千円
○ さくらであい館直売所運営助成 1,000千円(500千円)	⇒ 運営助成 1,000千円(450千円)	⇒ 運営助成 870千円(400千円)
②人と人が支え合う暮らしの絆づくり		
○ 民生委員100周年記念事業 450千円(200千円)	○ 地域福祉推進計画事業 ・わたしたちの談話 ・地域福祉推進協議会開催 3,806千円(50千円)	○ 地域福祉推進計画事業 ・わたしたちの談話 ・地域福祉推進協議会開催 3,732千円(29千円)
○ 地域生活支援拠点事業運営 7,659千円	⇒ 運営 7,484千円	⇒ 運営 13,510千円
⇒ 児童発達支援事業新規開設助成 3,800千円(1,900千円)		
○ ふれあい福祉センター運営 相談 632件 419千円	⇒ 運営 相談1,263件 984千円(480千円)	⇒ 運営 相談88件 161千円(80千円)
○ 手をつなぐ親の会活動助成 411千円	⇒ 継続実施 411千円(200千円)	⇒ 継続実施 411千円(205千円)
○ ハートフル・フラワー事業 500千円	⇒ 継続実施 500千円(250千円)	⇒ 継続実施 500千円(250千円)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
③シビックプライドの創生		
○ 徒然草エッセイ大賞創設 応募 2,581件 10,000千円(4,668千円)	⇒ 継続実施 応募 2,036件 9,998千円(4,066千円)	⇒ 継続実施 応募 2,776件 9,793千円(4,120千円)
○ 茶事体験事業 お茶席体験実施(男山第二中学校生徒) 520千円(260千円)	○ 新・空中茶室イベント開催 一坪茶室を活用したイベント 1,385千円(655千円)	⇒ 継続実施 一坪茶室を活用したイベント 182千円(79千円)
○ 公民館・コミュニティセンター講座等開設 80講座128回2,373人参加 1,035千円	⇒ 継続実施 86講座132回2,140人参加 1,012千円	⇒ 継続実施 81講座129回2,066人参加 966千円
○ 生涯学習フェスティバル事業 延2,800人参加 475千円	⇒ 継続実施 延3,200人参加 633千円	⇒ 継続実施 延3,200人参加 684千円
○ 生涯学習講座開設 延36回3,110人参加 1,843千円	⇒ 継続実施 延43回5,126人参加 2,011千円	⇒ 継続実施 延43回3,280人参加 1,698千円
○ 市公式SNSアカウント開設・運用 『やわふおと』『やわた桜まつぶ』実施	⇒ 活用 『やわたサマー』『やわた紅葉まつぶ』 『背割堤×サクラ×未来に』実施	⇒ 活用 『やわたサマー2019』 『やわた紅葉まつぶ2019』実施
○ 市民交流に資する事業への助成 ・太鼓まつり連絡協議会助成 500千円 ・八幡まちかど雛まつり事業助成 100千円	⇒ 助成継続 ・太鼓まつり連絡協議会助成 500千円 ・八幡まちかど雛まつり事業助成 100千円	⇒ 助成継続 ・太鼓まつり連絡協議会助成 500千円 ・八幡まちかど雛まつり事業助成 100千円
○ 「八幡市・エジソン生家博物館 連携に関する宣言書」調印		

(3) やわたEDISONチャレンジ！

(事業進捗状況)

平成29年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	平成30年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額	令和元年度実績 実績・事業費※()内は交付金充当額
①八幡発の創業の推進		
○ ワンストップ相談窓口運営 創業支援員1名配置 相談 延29件 2,277千円	⇒ 窓口運営 創業支援員1名配置 相談 延28件 2,273千円	⇒ 窓口相談 創業支援員 1名配置 相談 延24件 2,766千円
○ 融資保証料補給(開業・経営承継支援分) 補給1件 69千円	⇒ 継続実施 補給2件 48千円	⇒ 継続実施 補給1件 27千円
○ 融資利子補給(新創業融資分) 実績なし	⇒ 継続実施 補給2件 8千円	⇒ 継続実施 補給9件 279千円
②次代の農を支える人の支援		
○ 地域農業担い手認定者支援 ・農地中間管理 ・担い手認定者の農機具等購入助成 ・地域担い手育成総合支援協議会助成 ・農業青年クラブ活動助成 3,806千円	⇒ 継続実施 ・農地中間管理 ・担い手認定者の農機具等購入助成 ・地域担い手育成総合支援協議会助成 ・農業青年クラブ活動助成 2,855千円	⇒ 継続実施 ・農地中間管理 ・担い手認定者の農機具等購入助成 ・地域担い手育成総合支援協議会助成 ・農業青年クラブ活動助成 4,077千円
○ 農業体験 小学校での収穫体験等 127千円	⇒ 継続実施 小学校での収穫体験等 121千円	⇒ 継続実施 小学校での収穫体験等 125千円